

# 自然の声に心潜めて 県民の森と啄木

～案内人 啄木ソムリエ 山本玲子～



赤啄木鳥 (アカゲラ) 雄



啄木は  
林中の鳥なり。  
風に随って  
樹梢に移る。

2023年9月3日(日)～10月30日(月)

石川啄木が詠んだ岩手の自然。県民の森で味わってみませんか。

### 【山本玲子プロフィール】

啄木ソムリエ。1957年岩手県生まれ。岩手県立博物館勤務後、財団法人石川啄木記念館に24年間勤務。2013年11月に財団法人解散後、啄木ソムリエとしてフリーの立場で啄木の魅力と感動を伝えるべく活動中。岩手県県民の森の近くに暮らし、四季を通じて啄木が愛した岩手の自然に親しんでいる。

県民の森 イベント ご予約・問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

## 八幡平紅葉まつり 【雨天決行】

【主催】(一社)八幡平市観光協会 【共催】岩手県県民の森

2023年10月14日(土)・15日(日)

10:00～15:30 学習館裏第二駐車場にて開催

・フリーマーケット・ステージイベント・グルメ屋台・木工体験コーナー・紅葉ウォーキング



## 七滝・魚止めの滝ツアー

2023年10月21日(土)

8:30～15:00

定員:15名 参加費:2,500円

焼切沢にある「七滝」と、ガイドなしでは行くことの出来ない「魚止めの滝」を巡ります。美しい紅葉のなかの清々しい滝の流れは絶景です。沢を渡渉しますので膝丈の長靴が必要です。温泉券付。【山慣れた方対象】



## 正月飾りをつくろう

### 門松教室

2023年12月24日(日)

9:00～12:00

定員:15名 参加費:5,000円

恒例の年末人気イベントです。高さ90cm以上ある立派な門松をつくります。初めての方でも、丁寧につくり方をお教えますので安心。年の瀬の家族行事にされている方も多いです。手作りの門松で新年を迎えませんか？



木材工芸センター「木工教室」 ご予約・問い合わせ 木材工芸センター☎0195-78-4115

干支の置物(辰) 2023年11月26日(日) 3,000円

踏み台 2024年1月20日(土) 5,000円

場所:木材工芸センター  
時間:9:00～15:30  
定員:5名  
着色料:別途1,000円  
持ち物:昼食・ゴム手袋等

## 岩手県森林公園

# 県民の森だより

2023.  
10  
Vol.213

発行 岩手県県民の森  
(公益社団法人  
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



2022年10月18日 柳沢にかかる「魚止めの滝」

10月、県民の森が一年でいちばん華やぐ季節。木々の落葉も始まり、明るくなった森のなかの鮮やかな彩り。言葉では表現できない自然の美しさ、ぜひ味わいにお越しください。

## 岩手県県民の森 管理事務所

※イベント等の最新情報はHP等でご確認ください。  
※県民の森園内での植物採取は森林法により禁じられております。

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間:9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)  
@forest\_iwate





## 県民の森で紅葉を楽しむ。

岩手山北麓の県民の森は、秋が長く、雪が降るまで楽しめます。ついこの間まで青々としていた木々が順番に色付いていく様子。じっくりと堪能できるのは北国ならではの贅沢です。



【みんなの広場から西を望む】2022/10/17  
色付く稜線を背景に、色とりどりの紅葉が楽しめます。



【昭和の森のカツラ】2022/10/16  
カツラの黄葉は陽が差すと黄金色に輝きます。落ち葉からは甘い香りが漂うので、その存在に気付かされます。

## 七滝登山道



【七滝登山口】2022/10/23  
落葉で森の中に陽が差し、美しい紅葉と光のコントラストを堪能出来ます。



【七滝登山道】2022/10/24  
10月初旬～中旬は黄葉、下旬になると落葉が進んで紅葉も楽しめます。



【七滝】2022/10/18  
やっとたどり着いた七滝は華やかな装いで私たちを迎えてくれます。

## 彩る木々たち



【ハウチワカエデ(ムクロジ科)】2022/10/19  
園内や七滝登山道で数多く見られます。黄、橙、赤と様々な色合いに美しく色付きます。



【ミズナラ 成木(ブナ科)】2022/10/18  
岩手山麓の主要なドングリの木です。黄金色に色付く姿は、秋空に良く映えます。



【ミズナラ 稚樹(ブナ科)】2022/10/29  
同じミズナラでも、稚樹は、高木が落葉してから日光を浴びて紅葉することも多いです。

## レモンイエローの装い



【オオバクロモジ(クスノキ科)】2022/10/21  
枝葉をちぎって揉むと芳香がして、高級爪楊枝に利用されることが有名。透き通ったレモン色の色付きは初々しいです。



【ハリギリ(ウコギ科)】2022/10/18  
団扇ほどの大きさの掌のような葉っぱ。このあたりではセンノキと呼ばれて身近な木のひとつ。黄色に色付きます。



【コシアブラの落ち葉(ウコギ科)】2022/10/7  
クリーム色に近い黄色の色付きは、森の中で一際目立ちます。落ち葉を見つけて、その存在に気付くことが多い木です。

## 松川溪谷を彩る木々たち

岩手山北麓の紅葉の名所「松川溪谷」。早い樹種は9月頃から色付きはじめます。清らかな水流を彩る木々の色合いは毎日すこしずつ異なり、訪れる時間や天気によっても見え方が違い、同じ風景はありません。一期一会の彩り。様々な木々たちの色の調べを楽しみませんか？



松川溪谷 2022/10/19



森の大橋(上流) 2022/10/29



森の大橋(下流) 2022/10/13



ウリハダカエデ 2022/10/16



ハウチワカエデ(右) イタヤカエデ(左) 2022/10/25



アカシデ 2022/10/29

## 県民の森の植物 67 ヒトツバカエデ (ムクロジ科)

「一葉楓」と書き、カエデの仲間ですが、葉に一般的なカエデ特有の深い切れ込みがないので、葉だけ見るとカエデの仲間には見えません。大きなハート形の葉っぱで、別名、まるい葉の形から「マルバカエデ」とも呼ばれています。

特筆すべきは、芽吹き之美しさ。淡いピンク色で、フェルト生地のような柔らかな手触りは、声をあげてしまうほどの愛らしさです。花や実の季節になると、カエデの仲間だと一目でわかります。花はぶら下がらずに穂状に直立するタイプ。花が終わるとあのカエデ特有のプロペラのような実が出来ます。

驚くべきは秋の紅葉。葉っぱが緑色の間は、ほとんど目立ちませんが、ヒトツバカエデは美しいレモンイエローに色付き、森のなかで突然輝き出すのです。初めて出会った時の驚きは、いまでも忘れることがありません。落ち葉もまた美しく、いつまでも心に残ります。踏みしめて歩くのは、この時期限定の何よりの贅沢です。

県民の森では、園内の林縁部分や七滝登山道下部に多く自生しており、その美しさを堪能することが出来ます。



落ち葉 2022/10/19



実付きの落ち枝 2022/10/14



芽吹き 2022/4/25



花 2022/5/27



若い実 2022/7/4



黄葉 2022/10/27

## パノラマライン沿いにアジサイ約300本が植樹されました。

8月26日、「森林ボランティアによる全国植樹祭開催記念植樹会」が開催され、約140名のボランティアによって県民の森パノラマライン沿いに2種類のアジサイ約300本が植樹されました。白い美しい装飾花のアナベルと、牧野富太郎博士が名付けた優美な鮮やかな青のヒメアジサイ。昨年植樹された記念の森の「アジサイの歩道」に続くこの並木は、全国植樹祭の思いを引き継ぎ、県民の森の新しい名所として憩いの場となることでしょう。

